



【インサイト調査】在宅型心電図検査を体験した92.3%が「健康意識が高まった」と回答、さらに異常発見時、92.3%が『病院を受診したい』

イオンモール浜松市野で実施した「ホーム心臓ドックpro」体験ブースで、自宅検査の利便性と地域医療接続への可能性を確認

イオンモール浜松市野にて、心電計の開発・販売を行う医療テックベンチャー株式会社ココロミルが実施した長時間心電図検査「ホーム心臓ドックpro」の体験ブースにおいて、自分の心臓の動きをその場でリアルタイムに確認できるデモンストレーションを実施しました。

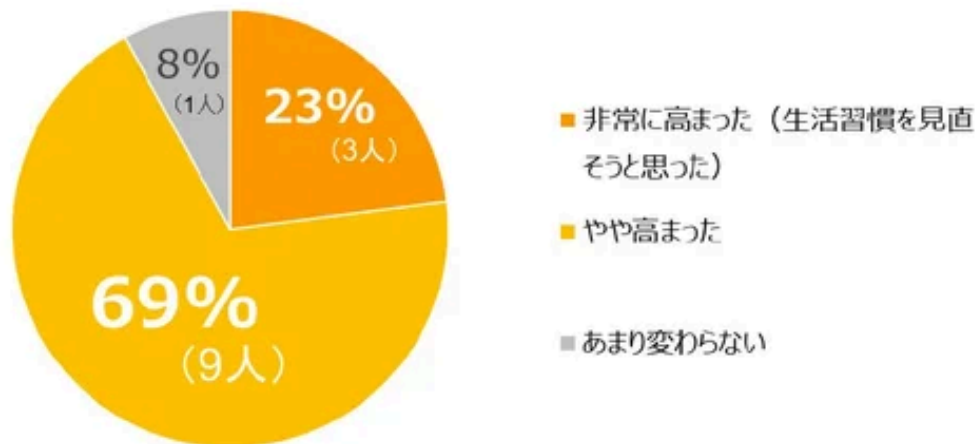
その結果、体験者アンケートでは、回答者13名のうち92.3%が「健康意識が高まった」と回答しました。また、92.3%が、異常が見つかった場合に「病院を受診したい」と回答。さらに、76.9%が従来の病院での心電図検査より「自宅検査の方が楽だった」と答えました。

今回の結果から、商業施設での体験をきっかけに、心臓リスクへの気づきや受診意向が高まる可能性が示されました。加えて、自宅のできる検査は、通院負担を抑えた新しい予防医療の選択肢として受け入れられる可能性があります。

課題に対する成果（アンケート結果抽出）

①参加者の約92%が「健康意識が高まった」と回答

今回の検査を受けたことで、
心臓病やご自身の健康に対する意識は変わりましたか？

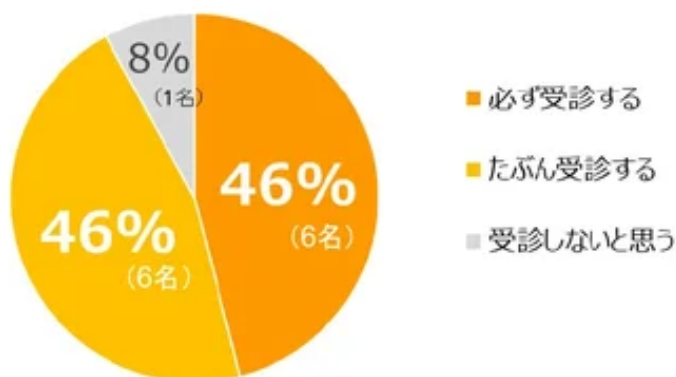


検査を受けたことで、心臓病や自身の健康に対する意識が「高まった」と答えた人は、13名中12名（約92.3%）に上りました。

内訳としても「非常に高まった（生活習慣を見直そうと思った）」が3名、「やや高まった」が9名となっており、これまで見過ごされがちだった心臓リスクを「自分事」として捉え直す強力なきっかけを提供できました。

② 確実な受診行動の喚起（一気通貫モデルの実証）

今回の検査結果で
「医師の診察が必要（要精密検査）」という判定が出た場合、
紹介された医療機関を受診しますか？

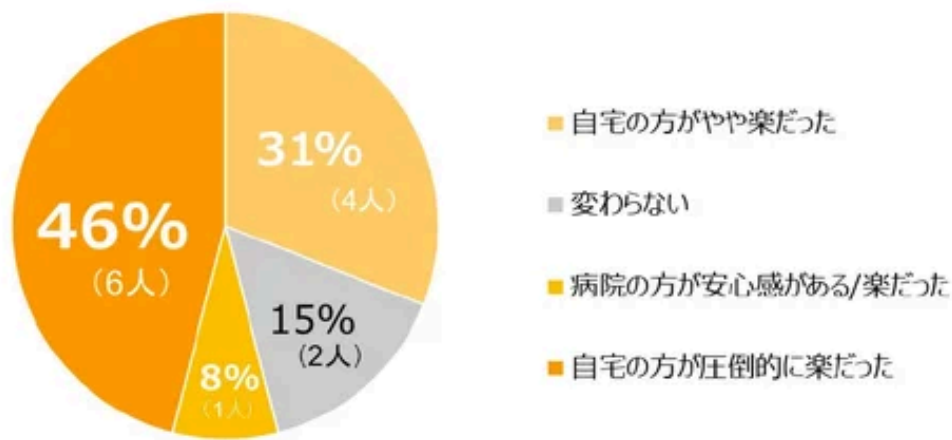


「もし今回の検査で要精密検査となった場合、紹介された医療機関を受診しますか？」という問いに対し、13名中12名（約92.3%）が「必ず受診する」（6名）または「たぶん受診する」（6名）と回答しました。

スクリーニング検査の提供に留まらず、地域の基幹病院へのシームレスな接続を目指す本プロジェクトの目的が機能し、早期発見・早期治療のサイクルが回ることが高く示唆されました。

③病院検査を上回る「自宅検査」の圧倒的な利便性

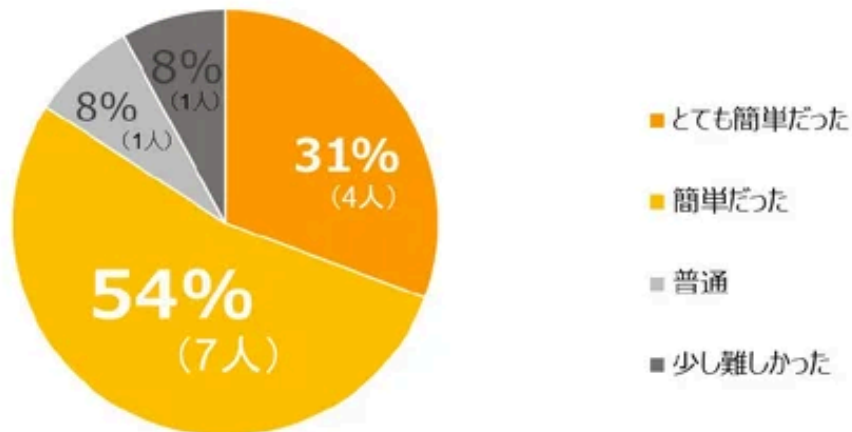
従来の健康診断での心電図検査（病院で受けるもの）と比較して、今回の「自宅での長時間検査」の負担感はいかがでしたか？



従来の病院での心電図検査と比較した負担感については、13名中10名（約76.9%）が「自宅の方が圧倒的に楽だった」（6名）、「やや楽だった」（4名）と回答しました。

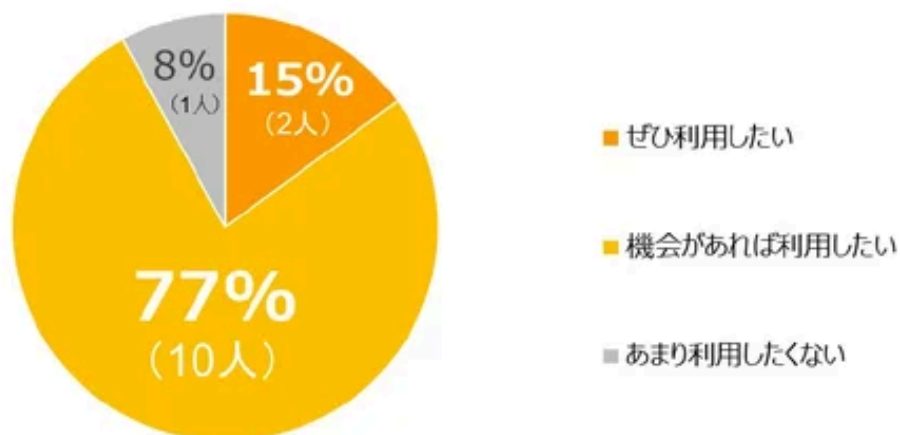
さらに、機器の装着操作についても13名中11名（約84.6%）が「簡単だった」と答えており、日常生活の中で負担なく高精度な検査ができる「ホーム心臓ドックpro」の受容性の高さが証明されました。

今回、ご自身で機器を胸に取り付け、
検査を開始するまでの操作はいかがでしたか？



④ 次回も受けてたい！約92%の継続利用意向

今後も、定期的に（例：年に1回など）
この「ホーム心臓ドック」を利用したいと思いますか？



「今後も定期的に利用したいか」という問いにも、13名中12名（約92.3%）が「ぜひ利用したい」「機会があれば利用したい」と前向きな回答を示し、一過性のイベントに終わらない予防行動の定着が期待できます。

<機器の使い勝手、サービス全体について その他ご意見や感想>

- ・全額自費では高いので、半額補助などで手出し5,000円程度になれば、年1回のペースで利用でき普及すると思う。
- ・保険適用内で受けられるようになると嬉しい。
- ・常にスマホ（iPhone）を3m以内に置く必要があるため、アップルウォッチのように腕につけられるとさらに楽になる。
- ・フル充電しても就寝中にスマホの電源が落ちてしまい、計測できているか不安になった。
- ・計測開始時、波形が表示されるまでに時間がかかり不安になった。『しばらくお待ちください』などの表示が欲しい。
- ・電極の密着度が弱く、途中で取れてデータが取れなかったため改善してほしい。
- ・マニュアルの図（パッドの取り付け位置）を大きく、ひと目で分かるようにしてほしい。
- ・機器が非常に小さく、自分一人で装着できるため、病院で胸を出す恥ずかしい思いをしなくて良いのは素晴らしいメリット。
- ・紹介された病院だけでなく、定期的に診てもらっているかかりつけ医にも結果を相談したいと思える内容だった。
- ・とても良いサービスなので、もっと知名度が上がって皆が使用できるようになってほしい。

今後の展開・課題解決の兆し

今回の結果から、「商業施設という生活動線で検査のきっかけを作り、自宅で手軽に測定できる仕組み」は、働き盛り世代のハードルを大きく下げ、9割以上の人に「確実な受診意向」と「意識変容」を促すという強い兆しが得られました。

一方で、今後の社会実装に向けたリアルな課題として「価格受容性」が浮き彫りになりました。アンケートでは約7割の参加者（13名中9名、約69.2%）が「自己負担5,000円以内」での受検を希望しており、「手出し5,000円程度になれば普及すると思う」といった声も寄せられました。高品質な予防医療を広く一般に届けるためには、全額自己負担ではなく費用面でのハードルを下げる仕組みが不可欠なことが判明しました。

また、自宅での検査が「病院よりも楽（13名中10名、約77%）」と高く評価された一方で、「スマホアプリの操作・接続状況が分かりにくい」「電極の密着度など装着への不安」といった声も寄せられました。

今後、スマホ操作に不慣れな方や高齢者も含め、誰もが日常の中でストレスなく測定を完結させるためには、機器とアプリのUI/UXのさらなるアップデートが必要不可欠です。

今後は、今回の実証で得られた「確実な受診行動・行動変容につながる」というエビデンスを活かし、行政の健康投資（補助モデル）や企業の健康経営・健保組合との連携を推進し、市民の費用負担を抑えながら健康寿命延伸を実現する「浜松発の予防医療インフラ」として、さらなる拡大を目指してまいります。

浜松市における循環器疾患の死亡率の高さや介護離職といった課題に対し、本プロジェクトが示す「日常に溶け込んだ予防と地域医療の連携モデル」は確かな解決策となり得ます。今回の実証で得られた「市民の生の声」を活かし、今後はこの仕組みをさらに強固なものとして、市民の健康寿命延伸と医療・介護費の抑制に貢献するモデルの社会実装を目指してまいります。

調査概要

事業・イベント名：ウエルネスアップ！健幸フェスティバル2025

実施自治体：浜松市

出展企業：株式会社ココロミル

実施場所：イオンモール浜松市野

実施日：2025年10月4日（土）・5日（日）

実施内容：在宅型長時間心電図検査「ホーム心臓ドックpro」の体験展示、リアルタイム波形確認、専門スタッフによる説明

アンケート対象：体験ブース参加者

回答者数：13名

※本調査はイベント体験者へのアンケート結果であり、回答者数は13名です。結果は参加者の傾向を示すものであり、浜松市民全体を代表するものではありません。

ホーム心臓ドックproについて

10種類もの不整脈を 寝ている間に早期発見！

- 1 期外収縮
- 2 発作性上室頻拍
- 3 心房粗動
- 4 心房細動
- 5 心室頻拍
- 6 心室細動
- 7 洞停止
- 8 脚ブロック
- 9 房室ブロック
- 10 補充調律

自宅でできる心電図検査で
突然死や健康のリスクを見つけます

ホーム心臓ドックpro
ホーム心臓ドック®

睡眠時無呼吸症候群・睡眠の質 ストレス も

一度の検査で同時にチェック！



「ホーム心臓ドックpro」は、自宅で行える長時間心電図検査サービスです。

胸に小型の心電計を貼り付け、心電図データを9時間以上取得。結果を臨床検査技師が解析しレポートにしてお渡しします。長時間の心電図計測により、従来の健康診断や人間ドックにおける15秒ほどの検査では見つからない、隠れた心疾患リスクを発見することができます。

さらに睡眠時無呼吸症候群(SAS)・睡眠の質、ストレスの兆候まで一度に検出します。

オンラインクリニックも完備しており、希望があれば自宅から医師の診察を受けたり、大学病院の紹介状も書いてもらうこともできます。

ホーム心臓ドックproは医療機器を使用していながら、自宅で検査ができるため、通院の手間なしに手軽に医療と同水準の検査を受けることができます。忙しく過ごす中高年の方はもちろん、病院へのアクセスが困難な地域の方やご高齢の方にご好評いただいております。

■ホーム心臓ドックpro(販売ページ)

<https://homeheart.health/products/homeheart-pro01>



株式会社ココロミル

ー「病気で後悔しない社会へ」をミッションに世界から突然死をなくすー

私たちは、自宅にしながら医療機関と同等の本格的な心電図チェックが手軽にできる「ホーム心臓ドック®」をはじめとする各種事業を展開しています。

長時間のデータ取得により、これまでの健診や人間ドックでは見逃されがちだった心疾患リスクも早期に“見える化”し、突然死などで「今まで救えなかった世界で1億人の命を救う」ことを実現します。

また、取得したデータを通じて、多くの方々が自分自身や家族の健康状態を可視化し、健康寿命やQOL（クオリティ・オブ・ライフ）を向上させることを目指しています。

代表取締役社長：林 大貴

所在地：〒160-0023 東京都新宿区西新宿6丁目2番16号 菅野ビル2F

設立：2021年11月

事業内容：ヘルスケア及び臨床研究事業

提供サービス：〈個人向け〉不整脈、睡眠時無呼吸症候群 (SAS)、睡眠の質、
ストレスの兆候を心電計を使って可視化する「ホーム心臓ドック®」
〈医療機関向け〉使い切りホルター心電計「eclat」
〈医療機関向け〉動物医療心電図モニタリング、ホルター検査

製品名：eclat（エクラ）

一般的名称：長時間心電用データレコーダ

医療機器クラス分類：管理医療機器（クラスII）、特定保守管理医療機器

主要許認可・認証等：

第二種医療機器製造販売業（許可番号：13B2X10584）

医療機器製造業（登録番号：13BZ201797）

高度管理医療機器販売業・貸与業（許可番号：5新保衛薬第162号）

ISO 13485:2016 認証取得

HP：<https://kokoromil.com/>

株式会社ココロミルのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/98284

〈本リリースに関するお問い合わせ先〉

株式会社ココロミル 広報部

TEL：03-5323-0010

Mail：prteam@kokoromil.com